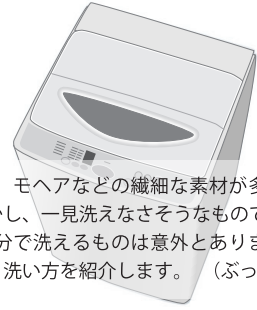




選択×洗濯



冬物の洋服はウールやカシミア、モヘアなどの繊細な素材が多く、自分で洗うのはためらいがち。しかし、一見洗えなさそうなものでもそれに合った洗い方を選べば、自分で洗えるものは意外とあります。今回は、そんな洗濯物の見分け方、洗い方を紹介します。(ぶっち)

洗濯表示を確認

衣類についているタグには、品質表示と、右図に挙げたような絵表示が記入されていて、**洗い方・塩素漂白の可否・ドライクリーニング・絞り方・アイロンのかけ方・干し方**など洗濯の方法を知ることができます。ここで注意したいのは、この表示は「～しなくてはいけない」ではなく、「～してもよい」または「～するのがよい」ことを示しているということ。例えば、ドライクリーニングのマークがついているからといって、ドライクリーニングしかできないとは限りません。その他の表示や材質などを見て、家で洗濯できるかどうかを判断します。主なチェックポイントは以下の4つです。

<p>弱 40 ネット使用</p>	<p>それぞれ洗濯機での水洗い、手洗いの可否を表します。記号の中の表記は以下のような意味です。</p> <p>弱……弱い水流or手洗いで洗う 数字……液温の上限 中性……中性洗剤を用いる ネット使用……洗濯用ネットを使用</p>		<p>絞り方に関する表示。ヨワクとは、手絞りの場合は弱く、洗濯機での脱水の場合は短時間で絞るのがよいという意味です。</p>
<p>手洗い 30 中性</p>	<p>なお、表示に×がついている場合、水洗いはできません。</p>	<p>高</p>	<p>アイロンのかけ方です。中の漢字は最適な温度（下記）を、下の波線は当て布の有無を示します。</p> <p>高……180～210℃ 中……140～160℃ 低……80～120℃</p>
<p>塩素 サラシ</p>	<p>「ハイター」や「ブリーチ」などの塩素系漂白剤が使用できるかどうかを示しています。</p>		<p>干し方を表す表示です。上は吊干しがよいことを示します。下のように平という表記がある場合は平干し、右下に斜線がある場合は陰干しがよいことを示します。</p>
<p>ドライ</p>	<p>ドライクリーニングができるかどうかを示しています。</p>	<p>平</p>	

CHECK

- 水洗いのマークに×がついていない
- 素材にシルク、レーヨン、キュプラ、アセテートが使われていない
- しわ加工、刺繍やレースがついていない
- スーツ、コート、ジャケット、ネクタイなど芯地の多いものは×

さあ洗おう

洗濯機洗いor手洗いが可能な衣類を 洗濯機で洗う

たたんだ衣類を（汚れがある場合は、その部分を外側に）洗濯用ネットに入れ、手洗い用のコースで洗いましょう。弱い水流と短時間の脱水を心がければ、ドライマークがついている衣類も洗えます。

洗濯機洗いor手洗いが可能な衣類を 手洗いをする

洗い桶に水を入れて中性洗剤を混ぜ、洗濯ネットに入れた衣類を両手でゆっくりと沈めて浮かせる動作を20回繰り返します。洗濯機で約30秒脱水した後、洗い桶の水を替えて先ほどの動作を15回。それから脱水とすすぎを2回行い、柔軟剤を入れて洗濯機で30秒ほど脱水したら、形を整えて干します。

フェイクファーやフェイクレザーなどを ふき洗う

薄めた中性洗剤液を柔らかい布に含ませて、全体をよくふき取ります。その後洗剤が残らないよう水で絞った布で数回ふき、最後に乾いた布で水分をふき取って陰干し。ファーの場合は、毛束ができないよう乾く前に服用ブラシでブラッシングします。

力を加えると型くずれする衣類を つけ置き洗い

ドライマークのついている衣類でも、生地を傷めずにすすみます。まずは洗い桶に水を入れ、中性洗剤を入れてかき混ぜます。たたんだ衣類を沈め、15分待ちます。その後たたんだまま洗濯機に入れ、15～30秒ほど脱水。桶の水を替え、さらに1分つけ置きます。再び脱水とつけ置きをし、陰干しをしましょう。

はみだし
すてーじ

卒業までに一度くらい採用されたい！
⇒よかったですね♪

(情報・院 KK)
(僕って結構親切；編)